

佐倉福音キリスト教会

サクサク通信

2016年10月号(第22号)



牧師：大高 伊作

電話：043-461-2983

住所：佐倉市白井田 774-83

mail: isaku.sakura.church@gmail.com

HP : <http://sakura-fukuin.com>



今月の聖書のことば

あなたの敵を愛しなさい。あなたを憎む者に善を行いなさい。【ルカの福音書 6 章 27 節】

前号の中で、少々誤解を与えかねない表現がありました。それは「最も身近にいる妻を愛せていないことにも気づきます」というものです。私としては「愛してない」のではなく「愛せていない」という、やりたくても出来ていないことを表現したつもりでしたが、説明不足だったように思いますので、今回は「愛」と「愛情」の違いについて書きたいと思います。

世の中には「ラブソング」があり、多くの歌手が「愛」を歌います。「愛」という言葉ほど意味範囲が広い言葉はないかもしれません。カップルの間でも「愛している」という言葉が使われますが、何年か経つと別れが待っていたり、結婚した途端にその言葉

を言ってくれなくなったという話を聞くこともあります。

では、聖書が語る「愛」とは何でしょうか。聖書が語る「愛」とは感情だけのものではなく、行動が伴います。しかも、自己犠牲を伴う行動です。多くの人は「愛」と「愛情」を区別しません。しかし、聖書の観点から言いますと、両者には違いがあります。「愛情」は私も十分持っているつもりですが、それは時に相手を支配しようとしたり、自分の思い通りに動かそうとしたり、自分の思い通りの行動や言動がないと腹を立てたりすることもあります。しかし、聖書の「愛」は相手の感情に左右されません。また、実際的な行動にも表れます。そして、時にそ

れは「嫌いな人」や「敵」をも愛することが出来ます。聖書には面白い教えがあります。

「あなたを憎んでいる者のろばが、荷物の下敷きになっているのを見た場合、それを起こしてやりたくなくても、必ず彼といっしょに起こしてやらなければならない。(出エジプト 23:5)」聖書が示す「愛」とはこのようなものです。相手が憎い人であっても、困っている状況にあるなら、感情としては起こしてやりたくないと思っても必ず一緒に起こしてあげなさい、と教えます。「愛」は感情だけではなく、実際の行動に表れます。しかも、それは利己的なものではなく、どこまでも相手の必要に寄り添うものです。そのような「愛」をイエス・キリストは実践するように教えます。それが、今月の聖書のことばにある敵を愛する愛です。そこで私が自分自身の心の内を見る時に、そのような「愛」がどこまであるのかと考えさせられます。「愛情」はありますが、それは時に押しつけがましかったり、全く相手を思

～集会案内～

○日曜日：聖日礼拝 10:30～12:00
教会学校 9:00～10:00

○水曜日：聖書研究祈禱会 10:30～12:00
19:30～21:00

○毎月第2火曜日：ユニケの会 10:30～12:00 (子育てなどを行っている方のための集い。)

聖書に関する疑問等ございましたら、遠慮なくご連絡ください。また、当教会は、エホバの証人やモルモン教、統一教会等とは一切関係のない、プロテスタントキリスト教会です。

っていないかたりするものであることが何と多い事でしょうか。このような聖書が示す「愛」で考えた時に、どこまで周りの人を愛することが出来ているか問われますし、反省の日々でもあります。そのような者だからこそ、神が、イエス・キリストが必要なのです。無限の愛を持っておられる神に「愛を与えて下さい」と祈ります。そして、少しでも聖書が示す愛を実践したいと願います。今回は、イエス様が示して下さった愛について書きます。

◆コラム

牧師の一週間を書いています。今回は金曜日です。この日は、木曜日までに準備してきたことを一気に書き上げる日です。400字詰め原稿用紙で言いますと、15枚から20枚分くらいを約2時間で、話しているかのように書きあげます。それは、神学校でそのようにすると良いと勧められたからですが、私には合っています。そして、その原稿を土曜日に二度ほど推敲して日曜日に話します。時に、土曜の夜に違うことが示されて書き直すこともあります。それはまれです。他に金曜日には、日曜日に配布する週報を作成したり、奉仕者に連絡したりします。それが終わると少し落ち着いて、他にやらなければならないことや、普段したくても出来なかったことに手をつけます。これまで自分の一週間を見てきましたが、大半は説教準備をしていることが分かりました。まあ、そのために牧師をしているのですから当然ではありますが。それに手抜きをしたら神様に怒られてしまいますね。